

東近江市総合計画審議会 会議録

| | | |
|-----------------|----------------------------|--|
| 第1回 東近江市総合計画審議会 | | |
| 日 時 | 平成22年11月30日(火) 14:00～16:10 | |
| 場 所 | 東近江市役所 3階 3A会議室 | |
| 出席者 | 審議会 | 稲川武宣(会長)、今堀治夫(副会長)、堤吉男、小倉昌和、井上由美 武藤精蔵、大林恵子、小梶猛、太田清蔵、野々村光子、川村高子 山村文志郎、森田初枝、北川憲司 |
| | 市 | 西澤市長、北川企画部長、国領企画部次長、企画課 吉澤、古川、西川 |
| 欠 席 委 員 | 北川陽子 | |

1. 市長あいさつ

[企画部長]

只今から、「第1回東近江市総合計画審議会」を開会致したいと存じます。私、本日の進行を務めさせていただきます企画部長の北川と申します。よろしくお願ひいたします。

会議に先立ちまして、総合計画審議会の趣旨について簡単にご説明申し上げます。

- 資料1「東近江市総合計画審議会条例」の説明(第2条、第3条)
- 資料2「東近江市総合計画策定委員会規程」の説明(第1条、第4条)
- 資料3「東近江市総合計画審議会公開要綱」の説明

それでは、開会にあたりまして、東近江市長 西澤久夫が挨拶を申し上げます。

[市長]

皆さん、平日の昼間、大変お忙しい時間の中、この東近江市総合計画審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この計画は、今後5年間の東近江市のあり方を考えるというだけではなく、逆に5年後の東近江市はどういうまちになるのか、どういう姿になっていけば良いのかということ、まず議論いただきたいと思います。もちろん理想論ばかりではいけないのですが、皆さんが関わっておられる中で、5年後はこういうまちにできるぞというものを議論いただきながら、今度はそれに向かってどのようにしていくかという、いわば理想形を考えてそこからバックキャストしていく、だんだん現実の方法へ持っていくというやり方が重要なのかなと思っています。2030年に地球温暖化防止のためにどのようなことができるのか、ということについて、まずは目標を設定して、それに向かってやっていくというやり方があるわけですが、それと同じようなやり方で、これからはやっていくべきだろうと考えています。そのための工程表づくりもお願いしたいと思っています。

計画は、やはりそれが実現しないと意味がありません。それに向かっての財源も当然必要になってきます。どういう形で財源を配分していくべきなのか、ということも含めて様々なご議論をいただきながら計画をつくっていただけるとありがたいと思います。

なかなかむずかしいことを皆さん方をお願いするかもしれませんが、今までと違って、積

み重ねではなく、自分たちのまちはこうあるべきだろうという方向性、使命を持って、我々が一緒に進んでいく計画をつくって、それに基づいて委員の皆さんも一緒にやっていくという基本を皆さんのお力で描いていただきたいというのが私の思いでございます。

ちょうど5年後というのは合併してほぼ10年を経過した直後の姿です。10年をどうしていくかということも含めて後期基本計画をどのようにしていくかということについて、皆さんと一緒につくっていききたいなと思います。5年後ということだと皆さんその生き証人となるわけでもございますので、きちっとやっていけるようにできればと思っています。ぜひ皆さんに道標となる計画をお願いしたいということを申し上げまして、私のあいさつとさせていただきます。どうぞ、よろしく願いいたします。

2. 委員の紹介

【企画部長】

続きまして、資料4「東近江市総合計画審議会委員名簿」をご覧ください。順番に、本日出席の委員の皆様をご紹介させていただきます。

(委員の紹介)

なお、本日、北川陽子委員がご都合により欠席されております。

また、事務局といたしまして、企画課職員が同席しておりますのでよろしくお願いいたします。

3. 会長、副会長の選出

【企画部長】

次に、次第の「3 当審議会の会長、副会長の選出」に入りたいと考えますが、どのような方法での選出がよろしいでしょうか、委員のみなさまのご意見をお願いいたします。

【委員】

事務局に一任したいと思います。

【企画部長】

只今事務局一任との声がありましたので、事務局に一任いただいでよろしいでしょうか。

【委員】

(異議なし)

【企画部長】

それでは事務局案をお願いします。

【事務局】

企画課の吉澤と申します。それでは、事務局案としましては、会長に稲川武宣委員、副会長に今堀治夫委員をお願いしたいと思います。

【企画部長】

ただ今、事務局案として、会長に稲川武宣委員、副会長に今堀治夫委員を推薦申し上げましたが、ご承認をいただけるようでしたら、拍手をもって承認とさせていただきたいと存じます。

【委員】

(拍手)

【企画部長】

ありがとうございます。

4. 諮問

【企画部長】

それではここで、西澤市長から稲川会長に「東近江市総合計画策定」に関する諮問を行いたいと存じます。稲川会長と西澤市長は、中央へのご移動をお願いいたします。

(西澤市長より稲川会長へ諮問)

【企画部長】

ありがとうございました。ここからは、審議会条例第6条の規程に基づき会議の議長は会長があたることとなっておりますので、稲川会長に進行をお願いいたします。

【会長】

改めまして、三重大学の稲川でございます。人生の諸先輩方をさしおいて私のようなものが会長で良いのかと思いますが、選ばれた以上、汗をかいてしっかりとあたっていきたいと思えます。皆様におきましてこれから1年の長丁場になりますが、忌憚のない意見をたたかわせて、計画でできあがるころまで関わっていただきますよう、よろしく願いいたします。

それでは本日の会議の到達点ですが、どんな計画をつくっていくのかということやスケジュールに関する共通認識をするということです。また、意見交換の時間もとっていただいていますので、よろしく願いいたします。

5. 議事

【会長】

それでは、早速ですが議事に入りたいと思えます。

限られた時間ですので、できるだけ効率的に時間を使いたいと思えますので、皆様のご協力をよろしく願いいたします。

(1) 総合計画策定の考え方について

【会長】

それでは、最初に今回の総合計画策定にあたっての基本的な考え方について事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

(資料5「東近江市総合計画 後期基本計画の策定の考え方」の説明)

【会長】

総合計画とは何か、その策定のスケジュールについて説明がありました。平成23年度はもっと会議の回数があっても良いのではないかと考えています。

何か、ご意見、ご質問などございますでしょうか。

【委員】

策定委員会に専門部会を設置するということですが、その部門構成はどのようにお考えですか。

【事務局】

計画書の目次をご覧ください。この第1章から第6章に対応する部会及び財政シミュレーションを行う部会の7部会を予定しています。

(2) 市民アンケート調査について

【会長】

そのほかご意見などございましたら後ほど一括して時間をとりたいと思います。引き続きまして、「市民アンケート調査」について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

(資料6「市民アンケートの考え方」及びアンケート調査票案の説明)

【会長】

ただいまの説明につきまして、何か、ご意見、ご質問などございますでしょうか。

【委員】

例えばアンケートの3ページの場合、満足度や重要度を評価することになっていますが、これまでどんなことをしてきたのか、わからないと評価が出てこないのではないのでしょうか。

【事務局】

中には理解しにくい項目がたしかにあるかもしれません。市民感覚で回答してほしいと考えています。仮に「わからない」が多くなれば、その項目についての周知が不足しているという資料になると考えています。そういう項目の情報提供に努めていかなければならないということになろうかと思えます。

【会長】

ほかに。

【委員】

アンケートの9ページの間9は根本的に間違っていると思います。これでは、まるで市民税を左右できるかのような誤解を与えます。検討していただきたいと思います。

【委員】

標本数は3,000人で大丈夫なのですか。

【事務局】

おおむね1,000人の回答があれば大丈夫だとされています。前回調査では43.6%の回収率でした。今回仮に回収率が40%だとしても1,200人の回答が得られますので大丈夫だと考えています。

【委員】

対象者に外国人は含めるのですか。

【事務局】

今のところ考えていません。

【委員】

東近江市は外国籍市民が多いので、方法を検討してください。

【事務局】

国際交流協会では平成21年に外国人へのアンケートを実施していますので、その結果を参考にしていきたいと思います。

【委員】

アンケートで何を聞くかというのはむずかしい問題です。もっと後でアンケートを実施するというのも可能ですか。

【委員】

東近江市の人口は増えているのか、今後高齢化はどの程度進んでいくのか、それについて市民はどう思っているのかを聞くべきだと思います。

【会長】

5年後の東近江市はどうなるのか、そういうデータを付けるのも有効だと思いますので、検討してください。

【委員】

基本となるバックデータを付けるのがアンケートをする側の礼儀だと思います。財源がない中でニーズを聞くということについて、もうひとひねり必要だと思います。厳しい財政状況に関するデータを出したほうが良いのではないのでしょうか。

【事務局】

アンケートは、計画を検討する上で、市民としてどう考えているのかという材料にしたいと考えています。財政見直しについては、そのような市民ニーズの優先度を反映しながら、これから検討していきたいと思います。

【委員】

財政見直しを付けたほうが良いと思います。それなしにデマンドを聞けば、何でもほしいになりかねない。住民が選択してもらわないと、いつまでもぶら下がり状態になると思います。

【委員】

統計なので広く聞くのはわかりますが、参加していない項目や知らない項目が結構あるように思います。

アンケートをどこまで信用するのか、信頼度はどの程度あるのかといつも思っています。

それぞれの分野に詳しい人に、該当する部分のアンケートを送るのはどうでしょうか。

【会長】

いろいろとご意見をいただきました。これらの意見をもとに再考しませんか。

【市長】

7ページの農業関係の項目をみても、わからない人が多いと思います。聞いて意義があるのか、どうか。聞くならば、前回の答えも書かなければならないでしょう。

【委員】

現在の達成度はどうなのか、それを示した上で評価してもらおうほうが良いと思います。庁内で計画を評価している気配がありません。

【企画部次長】

本市では総合計画に基づいて実施計画を策定していますが、実施計画の300あまりの事業

について評価をしています。

【委員】

項目の満足度や重要度よりも、優先度を聞くのが良いのではないのでしょうか。

【委員】

主体的に選択するものとして市民を位置づけないといけないと思います。市民にも責任を持ってもらう必要があります。

【会長】

確かに市民が選ぶ形になっていないとは思いますが。

【事務局】

市民はすべての項目を知らないと思いますので、項目を選べるような形を検討します。

【市長】

会長や副会長、各委員に修正案を示し、まとめてください。それから、5年後にどんな市になってほしいかを探れるようなアンケートにしてほしいと思います。どの施策が優先されるのか、きちっとわかるようにしてほしいと思います。

【会長】

事務局としては辛いのはよくわかりますが、よろしくお願いします。

【委員】

まちづくり協議会の方などは競い合うようにして熱心に活動されていますし、そういう方ならばこれらの項目についても比較のご存知だと思います。

でも一般の市民はどうでしょうか。私も主婦ですので、このようなアンケートが来ても右から左にしてしまう可能性があります。アンケートの費用のことも考えると、もったいない気がします。むしろ、まちづくり協議会の方々を対象にしたらどうでしょうか。声を上げる立場の人がまわりを啓蒙していくのが筋だと思いますから。

【委員】

このアンケートが高齢者や障がい者のところにも送られてくるとしたら、5年後のことまでなかなかわからないと思います。むしろ今の生活とのつながりが見えると、答えやすいと思います。そういう声を聞いてほしいと思います。

【会長】

これまで出された意見にどう対応するか、むずかしいかもしれませんが、このような委員を選んでしまったせいだと観念していただいて、検討してください。

では、ここで少し休憩をとりたいと思います。

<10 分間休憩>

6. 意見交換

【会長】

それでは、再開いたします。

市民アンケートについては、皆様方のご意見をふまえ、私と副会長と事務局で検討していきますので、了承していただきたいと思います。

先ほど市長も5年後の東近江を描きたいとおっしゃいました。ここで、意見交換として、

それぞれご自分の活動の紹介をお願いしたいと思います。また、計画にはこの点を盛り込んでほしい、あるいは5年後にはこうなってほしいというようなことをおっしゃっていただきたいと思います。

私自身は大学では医療や福祉を研究しているのですが、平成21年の夏に医療関係の取組で東近江と関わるようになったのが最初です。以来、月に2～3回は東近江に来ています。東近江では、異分野の方々が互いにつながっている、1+1が3にも4にもなっているところがこのまちの醍醐味だと思います。ですから、この審議会でもお互いの顔が見える中で、互いの活動をぶつけ合って、東近江の将来について語り合えればと思います。

ではお一人ずつお願いします。

(各委員からの自己紹介など)

【会長】

皆さんありがとうございました。本日の審議はこれまでとなります。

7. その他

【会長】

つづきまして、「その他」について事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

次回の審議会については、策定スケジュールどおりですと、3月を予定しているところで、しかしながら、3月は市議会の開催と重なることもあり、日程調整の結果、3月以外に開催することになるかもしれませんので、あらかじめご連絡させていただきます。後日、正式な日程についてはご連絡させていただきます。

また、次回からは、審議会の事前に資料を送付させていただく予定をしておりますのでよろしくをお願いいたします。

【事務局】

委員名簿の備考欄は事務局で作成したものです。間違っている箇所がありましたら、恐れ入りますが、教えてください。

【会長】

長時間お疲れさまでした。本日は10分間オーバーしてしまいましたが、次回は時間厳守でいきたいと思います。これをもちまして第1回東近江市総合計画審議会を閉会とさせていただきます。